

平成22年6月18日

(仮称) 新宿六丁目公園の整備について

(仮称) 新宿六丁目公園については、東京理科大学葛飾キャンパスの平成25年度開設に合わせて開園できるように進めている。このたび、平成21年度末で基本設計が完了したため、報告するもの。

1 公園施設の概要

- A街区 (5.0ha) 公園施設の概要 別紙-1のとおり
- E街区 (2.1ha) 公園施設の概要 別紙-2のとおり

2 防災関連

○避難場所

- ・当該公園、東京理科大学等一帯を避難場所の指定に向けて、所管課が東京都と協議中

○避難対象範囲及び避難計画人口

- ・避難対象範囲は避難場所の周辺地域とし、避難計画人口は約23,000人を想定

A街区(5.0ha) 公園施設の概要

①駐車場

- ・ゲート付き有料駐車場 35台程度 (障害者用3台含む) (昼間運車)
- ・E街区にも、ゲート付き有料駐車場 35台程度を確保 (大型車にも対応)
- ・災害時には物資の荷捌き空間として機能

⑫樹木

- ・外周部は、街路樹に合わせた樹種 (トウカエデ、カツラなど) を選定し、並木を形成

⑬マンホール型仮設トイレ

- ・3カ所 (図書館西側15基、276号側15基、三菱カス化学側40基) に設置

⑭樹木

- ・西側は地域にふさわしい樹種 (自然植生) を選定 (クヌギ、エノキ、ウツミズサクラ、ミズキなど)

⑮見晴らしの丘

- ・道路面との高低差は最大約3m、緩やかな勾配 (5~12%) をとる
- ・水害時には土のう用の土取り場として活用

⑯健康器具等

- ・公園外周路に健康器具と200m毎の距離表示プレートを設置

⑰水生植物の池

- ・約300㎡ (深さ約30cm)
- ・美しい水生植物 (スイレン、ミソハギなど) を集めた「水生花園」として整備

⑱蒸し釜

- ・三菱製紙中川工場で使用されていた蒸し釜を産業遺産のモニュメントとして設置

⑲池

- ・約400㎡ (深さ最大30cm)
- ・粘土質で止水土として使用される刃金 (はかね) 土を使用
- ・雨水を循環して活用 (ゴミ・浮遊物質除去用のろ過設備を設置、水との入れあい可能)
- ・災害時には生活用水として活用

⑳図書館まわり

- ・図書館正面に階段を整備、キャンパスモールとの高低差約75cm、道路面との高低差約2.3m
- ・図書館前面の池 (約1350㎡、深さ約1.0m) は基本的に雨水活用 (ゴミ・浮遊物質除去用のろ過設備を設置、水との入れあい可能)
- ・(災害時には生活用水として活用)
- ・図書館西側には道路との高低差 (約2.3m) に対応したバリアフリー园路や、カフェや図書館などへの物資搬入路を確保

㉑樹木

- ・原っぱ付近は、花が咲き、紅葉の美しい、季節感を楽しめる木を選定 (サクラ、イロハモミジ、カエデ、サルスベリなど)

㉒せせらぎ

- ・幅約1.5m (水流幅1m)、長さ約340m、深さ約5cm
- ・粘土質で止水土として使用される刃金 (はかね) 土を使用
- ・雨水を循環して活用
- ・(ゴミ・浮遊物質除去用のろ過設備を設置、水との入れあい可能)
- ・災害時には生活用水として活用

㉓照明

- ・出入口、園路などエリアごとに選んだ照明を選定
- ・夜間における安全確保を踏まえた明るさの確保
- ・省エネや自然エネルギーの活用 (LED・太陽光など)

㉔出入口

- ・出入口は4カ所 (南側2、北側1、276号線側1)
- ・出入口付近に自転車が置ける場所を整備 (15~40台)
- ・外周を用い柵は設けないため、歩行者はどこからでも出入り可能

㉕トイレ

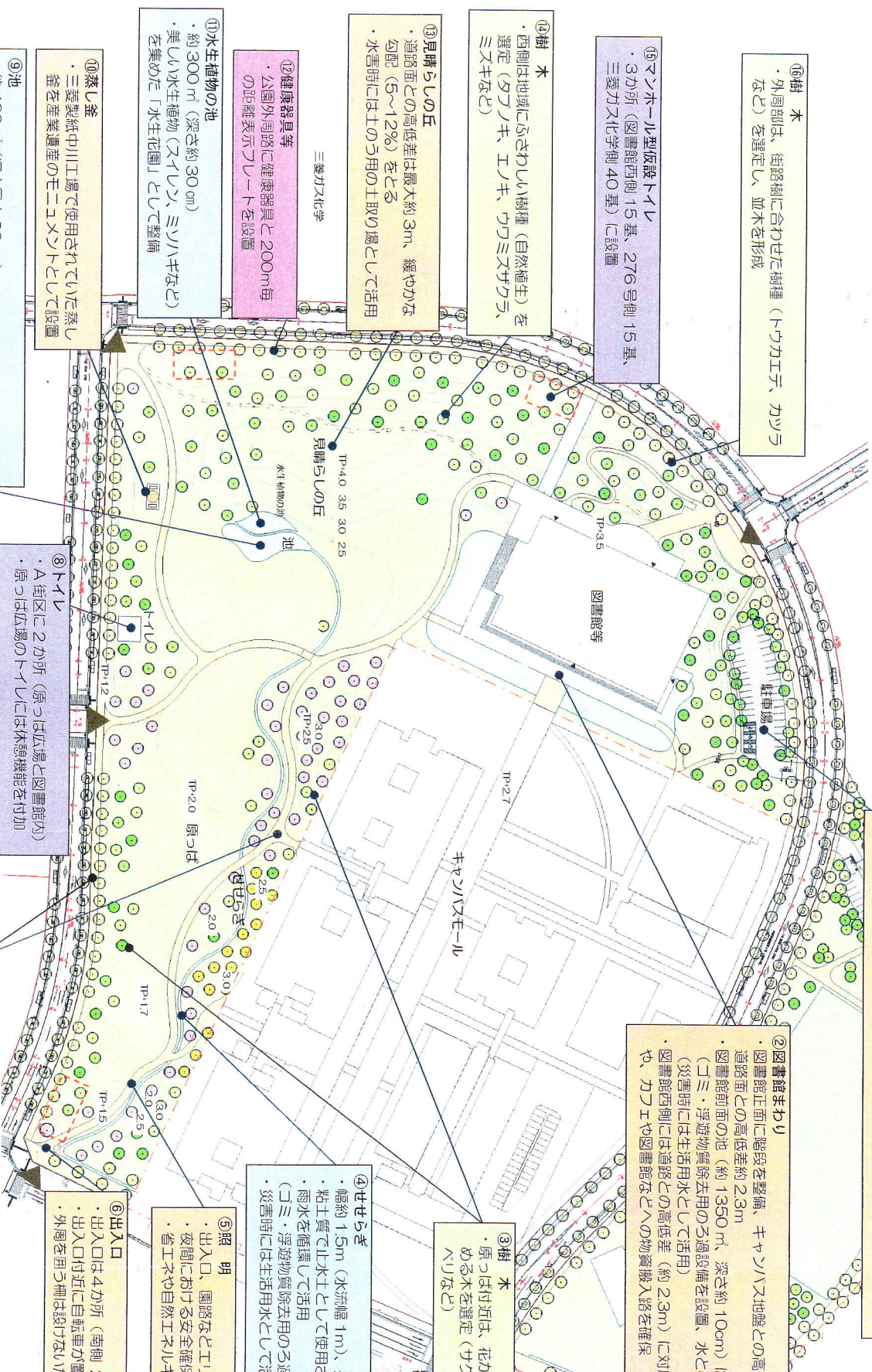
- ・A街区に2カ所 (原っぱ広場と図書館内)
- ・原っぱ広場のトイレには休憩機能を付加

㉖園路

- ・大学と公園内の歩行者動線の連続性を確保
- ・外周路 (歩道状空地 幅6.5m) と、周辺道路の歩道 (幅3.5m) の統一的な仕様の整備により、幅1.0mの歩行者空間を確保 (延長は約1.1km)

別紙 - 1

▲ : 出入口 (園路)
 ■ : マンホール型仮設トイレ





▲：出入口 (園路)

⦿：マンホール型仮設トイレ

⑩災害備蓄倉庫等
 ・災害備蓄倉庫・防災資器材倉庫(約 300 m²)、トイレ等を整備
 ・出入口部は道路面との高低差約2m
 ・倉庫周辺に洗い場、かまどベンチ等防災活動拠点施設を整備

⑨マンホール型仮設トイレ
 ・災害備蓄倉庫等付近に30基設置

⑧駐車場
 ・ゲート付き有料駐車場35台程度を確保 (大型車にも対応)
 ・A街区にもゲート付き有料駐車場35台程度を確保
 ・災害時には物資の荷置き空間として機能

⑦照明
 ・出入口、園路などエリアごとに適した照明を選定
 ・夜間における安全確保を踏まえた明るさの確保
 ・省エネや自然エネルギーの活用 (LED・太陽光など)

⑥公園管理事務所・スポーツ施設管理事務所
 ・ホール、授乳室、トイレ、受付、更衣室、シャワー、倉庫等を整備
 ・災害対策本部の機能の導入を検討中

⑤遊具・健康器具
 ・遊具は、管理事務所から目が届きやすい場所に設置
 ・遊具の種類は、周辺の公園や児童遊園の遊具を踏まえて選定
 ・健康器具は運動施設周辺などに設置

①出入口
 ・出入口は6か所 (大学側 2、小・中学校側 2、276号線側 2)
 ・出入口付近に自転車が置ける場所を整備 (15~20台)
 ・外周を囲う柵は設けられないため、歩行者はどこからでも出入り可能

②多目的運動広場
 ・人工芝、外周フェンス (高さ8m程度)、ナイター設備
 ・体育施設としての管理を予定 (月曜・生徒の放課後の遊び場として一般開放も検討)
 ・防災ハブポートとして検討中

③樹木
 ・花が咲き、紅葉の美しい、季節感を楽しめる木を選定 (エゴノキ、ヤマボウシ、イロハモミジなど)
 ・外周側南側は、街路樹に合わせた樹種 (トウカエデ) を選定し、並木を形成

④テニスコート
 ・3面 (西側1面は全天候型 (車いすにも対応)、東側2面は砂入り人工芝)
 ・外周フェンス (高さ4m程度)、ナイター設備
 ・障害者用駐車場を2台分確保
 ・体育施設としての管理を予定

